

7.PRの実施

7-1 PRの目的

- 本調査では、東駿河湾都市圏に関する様々な人々に対して、交通に関する実情やニーズを広聴し、都市交通計画に反映するとともに、本調査の内容を公開し、計画案に対する周知及び啓発を行うことを目的に、各種PRを実施しました。

7-2 主なPRの内容

(1) パーソントリップ調査実施時のPR

- パーソントリップ調査の認知度向上や、調査の協力姿勢を引き出すことを目的に、以下のPRを実施しました。

【ポスターの掲載】



【チラシ】



【SNS広告】



(2) 協議会ホームページの管理運営・調査結果の公表

- 協議会ホームページの管理運営を行い、主要な調査結果やニュースレターをホームページで公表しました。

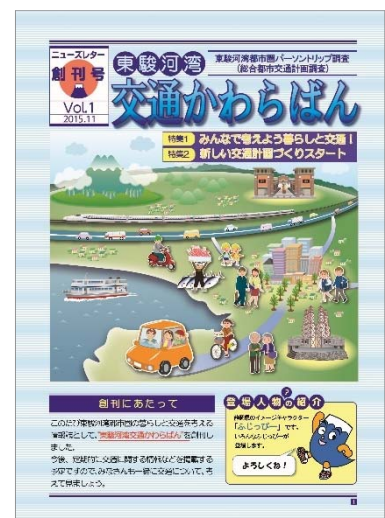
【協議会ホームページ】



【主要な調査結果の公表】

東駿河湾PT調査 将来予測結果からみた問題点 (ホームページ掲載用資料)	
将来交通量予測結果	1
(1) 生成交通量の予測結果	1
(2) 目的別交通量の予測結果	1
(3) 分布交通量の予測結果	2
(4) 交通種別別交通量の予測結果	3
1. 目指すべき都市像と交通特性の早晚	4
(1) 一人あたりインフラ・公共サービス維持費用の増加	4
(2) 中心市街地の活力低下	4
(3) 公共交通利用者数の減少	5
2. 自動車依存の進行	6
(1) 自動車利用の更なる増加	6
3. 残存する市街地内の道路混雑	8
(1) 市街地内における道路混雑の残存	8
4. 減少を続ける自転車利用者数	9
(1) 自転車利用率の低下と低い満足度	9
5. 高齢者の更なる自動車依存の進行	10
(1) 高齢ドライバーによる交通事故増加の懸念	10
(2) 高齢者の移動性確保	11
6. 広域交通拠点から観光地までのアクセシビリティが不十分	12
(1) 広域交通拠点から主要観光地までのアクセス時間	12

【ニュースレター発行】



(3) パブリックコメントの実施

- 地域住民の意見・意向を反映した将来交通計画を策定するため、東駿河湾都市圏 都市交通マスタープラン(案)を公表し、意見聴取を行いました。